

特定個人情報保護評価書(基礎項目評価書)

評価書番号	評価書名
1	小平市 住民基本台帳に関する事務 基礎項目評価書

個人のプライバシー等の権利利益の保護の宣言

小平市は、住民基本台帳事務における特定個人情報ファイルの取扱いにあたり、その取扱いが個人のプライバシー等の権利利益に影響を及ぼしうることを理解し、特定個人情報ファイルの保護と安全な利用について適切な措置を実施することで、個人のプライバシー等の権利利益の保護に取り組んでいることを宣言する。

特記事項

評価実施機関名

小平市長

公表日

令和5年9月30日

I 関連情報

1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務	
①事務の名称	住民基本台帳に関する事務
②事務の概要	<p>小平市が住民を対象とする行政を適切に行い、また、住民の正しい権利を保障するためには、小平市の住民に関する正確な記録が整備されていなければならない。</p> <p>住民基本台帳は、住民基本台帳法(以下「住基法」という。)に基づき、作成されるものであり、小平市における住民の届出に関する制度及びその住民たる地位を記録する各種の台帳に関する制度を一元化し、もって、住民の利便を増進するとともに行政の近代化に対処するため、住民に関する記録を正確かつ統一的に行うものであり、小平市において、住民の居住関係の公証、選挙人名簿の登録、その他住民に関する事務の処理の基礎となるものである。</p> <p>また、住基法に基づいて市町村(特別区を含む。)(以下「市町村」という。)の住民基本台帳とのネットワーク化を図り、全国共通の本人確認システム(以下「住基ネット」という。)を都道府県と共同して構築している。</p> <p>小平市は、住基法及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(以下「番号法」という。)の規定に従い、特定個人情報を以下の事務で取り扱う。</p> <ul style="list-style-type: none">①個人を単位とする住民票を世帯ごとに編成し、住民基本台帳を作成②転入届、転居届、転出届、世帯変更届等の届出又は職権に基づく住民票の記載、削除又は記載の修正③住民基本台帳の正確な記録を確保するための措置④転入届に基づき住民票の記載をした際の転出元市町村に対する通知⑤本人又は同一の世帯に属する者の請求による住民票の写し等の交付⑥住民票の記載事項に変更があった際の都道府県知事に対する通知⑦地方公共団体情報システム機構(以下「機構」という。)への本人確認情報の照会⑧住民からの請求に基づく住民票コードの変更⑨個人番号の通知及び個人番号カードの交付⑩個人番号カード等を用いた本人確認⑪取得した個人番号等を庁内の他業務システムへ連携⑫他機関からの情報照会に対応するために、特定個人情報を中間サーバーへ登録 <p>なお、⑨の「個人番号の通知及び個人番号カードの交付」に係る事務については、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に規定する個人番号、個人番号カード、特定個人情報の提供等に関する省令(平成26年11月20日総務省令第85号)(以下「個人番号カード省令」という。)第35条(個人番号通知書、個人番号カード関連事務の委任)により機構に対する事務の一部の委任が認められている。そのため、当該事務においては、事務を委任する機構に対する情報の提供を含めて特定個人情報ファイルを使用する。</p>
③システムの名称	<ul style="list-style-type: none">1. 既存住民基本台帳システム(以下「既存住基システム」という。)2. 住民基本台帳ネットワークシステム(※)3. 団体内統合宛名4. 中間サーバー5. 証明書コンビニ交付システム <p>※後述の「2. 特定個人情報ファイル名」に示す「本人確認情報ファイル」及び「送付先情報ファイル」は、住民基本台帳ネットワークシステムの構成要素のうち、市町村CSにおいて管理がなされているため、以降は、住民基本台帳ネットワークシステムの内の市町村CS部分について記載する。</p>
2. 特定個人情報ファイル名	
(1)住民基本台帳ファイル	
(2)本人確認情報ファイル	
(3)送付先情報ファイル	

3. 個人番号の利用

法令上の根拠

1. 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(番号法)(平成25年5月31日法律第27号)
 - ・第7条(指定及び通知)
 - ・第16条(本人確認の措置)
 - ・第17条(個人番号カードの交付等)
2. 住民基本台帳法(住基法)(昭和42年7月25日法律第81号)(平成25年5月31日法律第28号施行時点)
 - ・第5条(住民基本台帳の備付け)
 - ・第6条(住民基本台帳の作成)
 - ・第7条(住民票の記載事項)
 - ・第8条(住民票の記載等)
 - ・第12条(本人等の請求による住民票の写し等の交付)
 - ・第12条の4(本人等の請求に係る住民票の写しの交付の特例)
 - ・第14条(住民基本台帳の正確な記録を確保するための措置)
 - ・第22条(転入届)
 - ・第24条の2(個人番号カードの交付を受けている者等に関する転入届の特例)
 - ・第30条の6(市町村長から都道府県知事への本人確認情報の通知等)
 - ・第30条の10(通知都道府県の区域内の市町村の執行機関への本人確認情報の提供)
 - ・第30条の12(通知都道府県以外の都道府県の区域内の市町村の執行機関への本人確認情報の提供)
 - ・第30条の14(市町村の条例による本人確認情報の提供)

4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携	
①実施の有無	[実施する] <選択肢> 1) 実施する 2) 実施しない 3) 未定
②法令上の根拠	・番号法第19条第8号(特定個人情報の提供の制限)及び別表第二 (別表第二における情報提供の根拠) 第三欄(情報提供者)が「市町村長」の項のうち、第四欄(特定個人情報)に「住民票関係情報」が含まれる項(1、2、3、4、6、8、9、11、16、18、20、23、27、30、31、34、35、37、38、39、40、42、48、53、54、57、58、59、61、62、66、67、70、74、77、80、84、85の2、89、91、92、94、96、97、101、102、103、105、106、107、108、111、112、113、114、116、117、120の項)
5. 評価実施機関における担当部署	
①部署	市民部 市民課
②所属長の役職名	課長
6. 他の評価実施機関	
7. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求	
請求先	市民部 市民課 〒187-8701 小平市小川町2丁目1333番地 電話番号 042-341-1211 内線2313
8. 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ	
連絡先	市民部 市民課 〒187-8701 小平市小川町2丁目1333番地 電話番号 042-341-1211 内線2313

II しきい値判断項目

1. 対象人数	
評価対象の事務の対象人数は何人が	[10万人以上30万人未満] <選択肢> 1) 1,000人未満(任意実施) 2) 1,000人以上1万人未満 3) 1万人以上10万人未満 4) 10万人以上30万人未満 5) 30万人以上
いつ時点の計数か	令和5年8月31日 時点
2. 取扱者数	
特定個人情報ファイル取扱者数は500人以上か	[500人未満] <選択肢> 1) 500人以上 2) 500人未満
いつ時点の計数か	令和5年8月31日 時点
3. 重大事故	
過去1年以内に、評価実施機関において特定個人情報に関する重大事故が発生したか	[発生なし] <選択肢> 1) 発生あり 2) 発生なし

III しきい値判断結果

しきい値判断結果
基礎項目評価及び重点項目評価の実施が義務付けられる

IV リスク対策

1. 提出する特定個人情報保護評価書の種類		
[基礎項目評価書及び重点項目評価書]		<選択肢> 1) 基礎項目評価書 2) 基礎項目評価書及び重点項目評価書 3) 基礎項目評価書及び全項目評価書
2)又は3)を選択した評価実施機関については、それぞれ重点項目評価書又は全項目評価書において、リスク対策の詳細が記載されている。		
2. 特定個人情報の入手(情報提供ネットワークシステムを通じた入手を除く。)		
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か	[特に力を入れている]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
3. 特定個人情報の使用		
目的を超えた紐付け、事務に必要な情報との紐付けが行われるリスクへの対策は十分か	[特に力を入れている]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
権限のない者(元職員、アクセス権限のない職員等)によって不正に使用されるリスクへの対策は十分か	[特に力を入れている]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
4. 特定個人情報ファイルの取扱いの委託 []委託しない		
委託先における不正な使用等のリスクへの対策は十分か	[特に力を入れている]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
5. 特定個人情報の提供・移転(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) []提供・移転しない		
不正な提供・移転が行われるリスクへの対策は十分か	[特に力を入れている]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
6. 情報提供ネットワークシステムとの接続 [○]接続しない(入手) []接続しない(提供)		
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か	[]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
不正な提供が行われるリスクへの対策は十分か	[特に力を入れている]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
7. 特定個人情報の保管・消去		
特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策は十分か	[特に力を入れている]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
8. 監査		
実施の有無	[] 自己点検 [○] 内部監査 [] 外部監査	
9. 従業者に対する教育・啓発		
従業者に対する教育・啓発	[特に力を入れて行っている]	<選択肢> 1) 特に力を入れて行っている 2) 十分に行っている 3) 十分に行っていない

変更箇所

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成27年7月16日	I 関連情報 1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務 ② 事務の概要	—	なお、⑨の「個人番号の通知及び個人番号カード交付」に係る事務については、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の規定による通知カード及び個人番号カード並びに情報提供ネットワークシステムによる特定個人情報の提供等に関する省令(平成26年11月20日総務省令第85号)(以下「通知カード及び個人番号カード省令」という。)第35条(通知カード、個人番号カード関連事務の委任)により機構に対する事務の一部の委任が認められている。そのため、当該事務においては、事務を委任する機構に対する情報の提供を含めて特定個人情報ファイルを使用する。	事後	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の規定による通知カード及び個人番号カード並びに情報提供ネットワークシステムによる特定個人情報の提供等に関する省令が公布されたため。
平成27年7月16日	I 関連情報 3. 個人番号の利用 法令上の根拠	—	第22条(転入届)	事後	住基法施行令第23条第2項の改正により、転出証明書に個人番号を記載することとなったため、その委任条文である住基法第22条を追記する。
平成27年7月16日	I 関連情報 5. 評価実施機関における担当部署 ※その他該当項目についても変更する。	市民生活部	市民部	事後	平成27年4月1日付小平市組織条例改正に伴う名称変更
平成27年7月16日	II しきい値判断項目 1. 対象人数 いつ時点の計数か	平成26年12月1日 時点	平成27年7月1日 時点	事後	リスクを軽減するため、しきい値の再調査を行ったため。
平成27年7月16日	II しきい値判断項目 2. 取扱者数 いつ時点の計数か	平成26年12月1日 時点	平成27年7月1日 時点	事後	リスクを軽減するため、しきい値の再調査を行ったため。
平成28年7月29日	5 評価実施機関における担当部署 ②所属長	和田 明浩	三井 慎二郎	事後	平成28年4月1日の人事異動による変更
平成28年7月29日	II しきい値判断項目 1. 対象人数 いつ時点の計数か	平成27年7月1日 時点	平成28年7月1日 時点	事後	しきい値の再調査を行ったため。
平成28年7月29日	II しきい値判断項目 2. 取扱者数 いつ時点の計数か	平成27年7月1日 時点	平成28年7月1日 時点	事後	しきい値の再調査を行ったため。

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成30年1月26日	I 関連情報 7. 特定個人情報 の開示・訂正・利用停止請 求 ※その他該当項目についても 変更する。	内線 2314	内線 2317	事後	担当者変更のため
平成30年1月26日	II しきい値判断項目 1. 対 象人数 いつ時点の計数か	平成28年7月1日 時点	平成29年12月1日時点	事後	しきい値の再調査を行ったた め。
平成30年1月26日	II しきい値判断項目 2. 取 扱者数 いつ時点の計数か	平成28年7月1日 時点	平成29年12月1日時点	事後	しきい値の再調査を行ったた め。
平成30年6月27日	I 関連情報 5. 評価実施機 関における担当部署 ②所属 長の役職名	三井 慎二郎	課長	事後	様式変更のため
平成30年6月27日	II しきい値判断項目 1. 対 象人数 いつ時点の計数か	平成29年12月1日時点	平成30年6月1日	事後	しきい値の再調査を行ったた め。
平成30年6月27日	II しきい値判断項目 2. 取 扱者数 いつ時点の計数か	平成29年12月1日時点	平成30年5月31日	事後	しきい値の再調査を行ったた め。
平成30年6月27日	I 関連情報 4. 情報提供ネットワークシ ステムによる情報連携 ②法令上の根拠	(別表第二における情報の提供の根拠) 第三欄… (1、2、…、70、77、…、84、89、…116、11 7、120の項)	(別表第二における情報の提供の根拠) 第三欄… (1、2、…、70、74、77、…、84、85、89、… 116、119の項)	事後	法令の改正により
平成30年6月27日	II しきい値判断項目 いつの時点の計数か	平成30年6月1日 時点	令和元年5月31日 時点	事後	定期的見直しにより
平成30年6月27日	IV リスク対策	—	(新規追加)	事後	様式変更のため
令和2年9月30日	I 関連情報 1. 特定個人情報 報告ファイルを取り扱う事務 ② 事務の概要	なお、⑨の「個人番号の通知及び個人番号カ ードの交付」に係る事務については、行政手続に おける特定の個人を識別するための番号の利 用等に関する法律の規定による通知カード及び 個人番号カード並びに情報提供ネットワー クシステムによる特定個人情報の提供等に関する 省令(平成26年11月20日総務省令第85号) (以下「通知カード及び個人番号カード省令」と いう。)第35条(通知カード、個人番号カード関 連事務の委任)により機構に対する事務の一部 の委任が認められている。	なお、⑨の「個人番号の通知及び個人番号カ ードの交付」に係る事務については、行政手続に おける特定の個人を識別するための番号の利 用等に関する法律に規定する個人番号、個人 番号カード、特定個人情報の提供等に関する省 令(平成26年11月20日総務省令第85号)(以 下「個人番号カード省令」という。)第35条(個人 番号通知書、個人番号カード関連事務の委任) により機構に対する事務の一部の委任が認め られている。	事後	法令の改正により
令和2年9月30日	I 関連情報 4. 情報提供ネットワークシ ステムによる情報連携 ②法令上の根拠	(別表第二における情報の提供の根拠) 第三欄… (1、2、…、96、101、102、…、116、119の 項)	(別表第二における情報の提供の根拠) 第三欄… (1、2、…、96、97、101、102、…、116、1 17、120の項)	事後	法令の改正により

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和2年9月30日	II しきい値判断項目 1. 対象人数 いつの時点の計数か	令和元年5月31日 時点	令和2年8月31日 時点	事後	再評価をしたため
令和2年9月30日	II しきい値判断項目 2. 取扱人数 いつの時点の計数か	令和元年5月31日 時点	令和2年8月31日 時点	事後	再評価をしたため
令和3年9月27日	I 関連情報 1. 特定個人情報ファイル を取り扱う事務 ③システムの名称	—	5. 証明書コンビニ交付システム	事前	コンビニ交付の開始準備に伴い
令和3年9月27日	I 関連情報 4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携 ②法令上の根拠	・番号法第19条第7号(特定個人情報の提供の制限)及び別表第二 (別表第二における情報の提供の根拠)第三欄… (1、2、…、20、21、23、…、106、108、…116、117、120の項)	・番号法第19条第8号(特定個人情報の提供の制限)及び別表第二 (別表第二における情報の提供の根拠)第三欄… (1、2、…、20、23、…、106、107、108、…116、117、120の項)	事後	法令の改正により
令和3年9月27日	II しきい値判断項目 1. 対象人数 いつの時点の計数か	令和2年8月31日 時点	令和3年8月31日 時点	事後	定期的見直しにより
令和3年9月27日	II しきい値判断項目 2. 取扱人数 いつの時点の計数か	令和2年8月31日 時点	令和3年8月31日 時点	事後	定期的見直しにより
令和4年9月27日	II しきい値判断項目 1. 対象人数 いつの時点の計数か	令和3年8月31日 時点	令和4年8月31日 時点	事後	定期的見直しにより
令和4年9月27日	II しきい値判断項目 2. 取扱人数 いつの時点の計数か	令和3年8月31日 時点	令和4年8月31日 時点	事後	定期的見直しにより
令和5年9月25日	I 関連情報 3. 個人情報の利用 法令上の根拠	—	第30条の14(市町村の条例による本人確認情報の提供)	事後	住基ネットの条例利用を実施しているため
令和5年9月25日	II しきい値判断項目 1. 対象人数 いつの時点の計数か	令和4年8月31日 時点	令和5年8月31日 時点	事後	定期的見直しにより

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和5年9月25日	II しきい値判断項目 2. 取扱人数 いつの時点の計数か	令和4年8月31日 時点	令和5年8月31日 時点	事後	定期的見直しにより
令和5年9月25日	IV リスク対策 8. 監査	自己点検	内部監査	事後	監査の変更